

清流

題字：芳野 充

令和6年2月29日
第86号

発行所 加来不動産(株)
発行者 加来 寛
北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに
静かに
清流のように

めぐる言葉の力

宗教的な話をするつもりはありませんが、聖書には「はじめに言葉があった。言葉は神とともにあった」と書きだされています。また、わが国では「言霊の幸う国」と言われ、昔から言葉には禍福を左右するおおきな力があると考えられています。このように言葉というのは昔から西洋東洋問わず、重要視されていますが、最近このことを身をもって体験しました。会社においておぼつかしい問題がありました。それを解決すべく、現在のスタッフとの関係性や社内体制、一人ひとりの仕事量など様々なことを考慮して一つの改善案をだしました。それを身近な人に相談したところ、強くきつい口調と表情で「それでは何の解決にもならない。まったく話にならない！」と叱責されました。

情けない話ですが、その言葉にわたしは大きなショックを受け、夜は眠れず、また数日間感情がおおきくゆれて安定せず、自分の口からでる言葉にどこかとげとげしきを感じました。

一方でこんなことがありました。社外の人から過度な要求をうけ、どうしたものかと悩んでいました。思いきって妻に相談したところ、「それは相手があなただけに期待をよせているはず。そうでないとそんな話はないと思うよ」との言葉に、肩の力がスッとぬけ安心感につつまれる感覚を味わいました。その後、その悩みとも向きあうことができたのではなく、子どもたちへの声かけや、スタッフへの指示の出し方がとてもおだやかで、ゆったりしていることを感じました。

このような体験から、良きにつけ悪しきにつけ言葉には人から人へめぐる力があると感じました。相手を思い、元氣や勇氣を与える言葉や語調は、相手に安心感やよろこび、そして活力を受け渡し、受け取った相手はまた別の人へそれを受け渡す善循環が生まれます。逆もまたしかりです。自分の感情のままに強くきつい口調、あるいはとても冷たい言葉をぶつけると相手は気落ちさせたり、イライラさせたり活力をうばうことになります。それはまた別の人の感情を乱す悪循環を生みだすかもしれない。

「自分の正しい」や「当たり前」を相手に押しつけたり、「あなたが悪い」と高圧的に、あるいは感情的に相手を責めたりします。それは結果的に人間関係をこわす要因、悪循環の要因となり得ます。

これを正しくコントロールするのは本来に至難の業です。しかし、言葉には人の禍福を左右するおおきな力があること。それはめぐりめぐって自分にも還ってくることを、頭の片すみに置いておくだけでも意識がかわり、行動にも変化があらわれ、善循環が生まれやすくなるのではないだろうか。

加来 寛

